



広尾方式能面研究会作品展

～浪速ゆかりの能を探る～

2014.10/24(金)-10/28(火)
11:00-18:00 (最終日は16:00迄)



2014
広尾方式能面研究会作品展
浪速ゆかりの能を探る
10.24金-10.28火
11:00-18:00 (最終日16:00)
浪速町画廊

能とは...

能は日本の伝統芸能の一つで文楽と共に世界遺産に登録されている。

能は、室町時代に世阿弥によって完成されたもので能面を身につけて行う一種の仮面劇である。

能面とは...

能面は「おもて」と呼ばれ、曲の位を支配するほど能業師にとって重要なものである。

能面の種類は翁面、尉面、男面、女面、鬼神面、怨霊面があり、基本的には約60種あるとされる。

今回の展覧会は、広尾方式能面研究会作品展です。2年ごとに開催されているこの展覧会は、日本伝統芸能である能に使われる仮面、「能面」を研究する方達によるグループ展です。

今回のテーマは、「浪速ゆかりの能をさぐる」とされており、元は湖であった大阪を舞台にした様々な能のお題目（お話）と共に、それぞれに登場する面を紹介する形で展示されました。

会場には、数々の能面と共に、能に使われる道具である扇や鼓、臨場感あふれる写真も展示され、

面が舞台の上でどんなふうに見えるのかを想像させるような仕掛けが上手に作られています。また、面ひとつひとつの作り込みの細かさや、同じ女性の面でも年齢や形、表情のバリエーションの多さには驚くものがありました。

いつもとは雰囲気異なる、日本の伝統や美意識を感じる作品に、展覧会開催中は通りがかりの若い世代の方や外国人の方も多数来場され、皆さん興味深そうに作品を見ておられました。

